

平成30年7月24日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国
韮山営農センター

第4回 (7/24号)

水稻病虫害発生予察の結果について

①生育状況

平坦地の韮山地区でも、中干しに入っている圃場が見られ始めました。大仁の神島地区では、幼穂形成が確認されました。山間地は出穂始めに入っていました。概ねどの地区も昨年と同程度の生育となっております。

②害虫状況

先週からウンカ類、ヨコバイ類の発生がどの地区でも確認されています。現状では、防除の必要な発生量ではありませんが、今後の発生動向に注意し、必要に応じて薬剤防除を検討して下さい。

山間地では、カメムシの発生が確認されています。周辺圃場と合せて防除できるとより効果的です。

③その他

巡回の中でオモダカやホタルイ、クログワイなどの花が咲き始めている予察圃場が見られました。自身の圃場を確認頂き、種を作る前に除草作業を検討して下さい。

神島地区は穂肥の適期になります。NK化成2号は出穂の20日前と10日前、IB4号は出穂20日前の施用が適期です。(ナイスワンパワー等の一発肥料を施用している方は必要ありません。)

④資材紹介

【殺虫剤】

スタークル粒剤 3kg/10a 収穫7日前まで

カメムシでの適期は出穂期の1週間後(穂が出揃ってから3~4日後)

薬剤散布後7日間は、落水やかけ流しをしない。

【除草剤】

バサグラン粒剤 3~4kg/10a 移植後15~55日

落水散布またはごく浅く湛水して散布。散布後3日間は入水せず、7日間は落水をしない。

2, 4-Dアミン塩 1,000倍 1本/10a

使用時期→有効分けつ終止期~幼穂形成期前ただし収穫60日前まで

※生長点に作用するので、中干1週間後程度を目安に雑草にかかるように散布。

問い合わせ：韮山営農センター 佐藤・西島 055-949-0055